

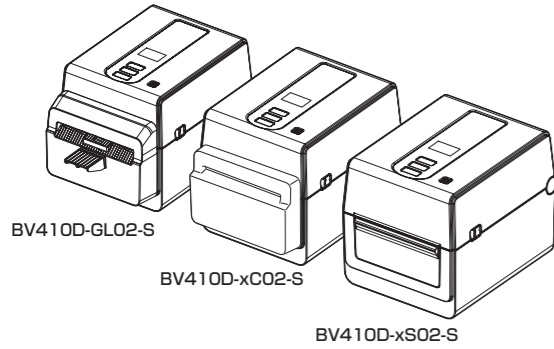


TEC

取扱説明書

テック ラベルプリンタ

BV410D-TS02/GS02-S BV410D-TC02/GC02-S BV410D-GL02-S



■このたびは本機をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
■お使いになる前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ず読んで、正しくお使いください。
■お読みになったあとは本機のそばなど、いつも手元においてお使いください。

安全上のご注意(安全にお使いいただくために)

お買いあげいただきました製品(本機)および取扱説明書には、お使いになる方や他の人々への危害と財産の損害を未然に防ぎ、本機を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

■表示の意味
警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容および物的損害(※3)のみが発生が想定される内容を示しています。

※1: 重傷とは失明や、けが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
※2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
※3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

- 図記号の例
- △は、注意(警告を含む)を促す事項を示しています。具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示しています。
 - ⊘ は、してはいけない行為(禁止事項)を示しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。
 - は、必ずしてほしい行為(強制事項)を示しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。

警告

- 交流100V以外では使用しないこと**
火災・感電の恐れがあります。
- 電源コード、ACアダプタは本体付属品を使用すること**
本機の電源コードを取り外し、他の製品に使用しないでください。また、他の電源コードを本機に取り付けて使用しないでください。付属品以外の電源コードを使用すると、火災の恐れがあります。
- タコ足配線や延長コードを使用した配線はしないこと**
電源容量を超えると、火災・感電の恐れがあります。
- 電源コードを無理に曲げたり、傷つけたり、引っばったり、重い物を乗せたり、加熱したりしないこと**
電源コードを傷つけると、火災・感電の恐れがあります。万一、電源コードを傷つけたときは、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。
- 分解や改造、ご自身での修理はしないこと**
火災・感電の恐れがあります。点検や修理については、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 必ずアース(接地)すること**
万一漏電した場合、火災・感電の恐れがあります。ただし、ガス管、水道管、蛇口、避雷針などにはアース(接地)を行わないでください。
- 濡れた手で本機を操作したり、電源プラグを抜き差ししないこと**
濡れた手で操作すると、感電の恐れがあります。
- 分解禁止**

警告

- 本機の上に液体の入った容器やアクセサリーなどの金属類を置かないこと**
こぼれて中に入ると、火災・感電の恐れがあります。
- 万一、煙が出たり変な臭いがしたときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に連絡すること**
そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。
- 本機の内部にクリップなどの金属類、液体、燃えやすい物などを落としたり、差し込んだりしないこと**
配線がショートし、火災・感電の恐れがあります。
- 万一、異物(金属片・液体)が本機に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に連絡すること**
そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。
- 本機を落としたり、本機に強い衝撃を与えないこと**
カバーなどが破損し、火災・感電の恐れがあります。
- 万一、本機を落としたり、カバーなどを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に連絡すること**
そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。
- 水がかかる場所で使用したり、水に濡らさないこと**
火災・感電の恐れがあります。
- 製品の周辺で、可燃性のスプレーなどは使用しないこと**
スプレーガスなどが製品内部の電気部品などに接触すると、爆発および火災の原因になります。

注意

- 電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込むこと**
確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜くこと**
電源コードを引っばると、中の芯線が切れたり露出したりして、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜き、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃すること**
ほこりがたまるとう、火災の原因となることがあります。
- 移動するときは、電源コードや他の接続コードを抜くこと**
接続したまま移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜くこと**
感電の原因となることがあります。
- 長期間使用しないときは安全のため、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜くこと**
火災の原因となることがあります。

注意

- 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる暑い場所に置かないこと**
内部の温度が上がったり、絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いたところ、振動の多い場所に置かないこと**
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 調理台や加湿器、熱器具のそばなど、油煙や湯気、熱が当たる場所に置かないこと**
絶縁が悪くなったり、カバーや電源コードの被膜が溶け、火災・感電の原因となることがあります。
- 本機をキャスター付きの台に設置したときは、必ずキャスター止めをすること**
動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に重い物を置かないこと**
置いた物がバランスを崩して倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。
- 本機を子供に使わせたり、幼児の手の届くところに置かないこと**
感電・けがの原因となることがあります。
- 冷気が直接当たる場所に本機を置かないこと**
露がつき、火災・感電の原因となることがあります。

注意

- 用紙やリボンなどの消耗品を交換するときは、プリンタのギアなどに髪の毛やスクラップ、ネクタイを巻き込まないこと**
けがの原因となることがあります。
- プリンタのヘッド部および用紙搬送部周辺は、高温になっている場合があるので手を触れないこと**
やけどの原因となることがあります。
- 取扱説明書で指定する箇所以外のカバーの開閉、点検、清掃、消耗品の交換などはしないこと**
感電・けがの原因となることがあります。
- 左右のトップカバー固定フックに手などをぶつけない**
けがの原因となることがあります。
- トップカバーやリボンカバーは後側へ倒すように全開にすること**
中途半端な状態にしておくとなり、けがの原因となることがあります。
- シンナーやベンジン、可燃性ガスを使用したクリーナーで本機を清掃しないこと**
火災の原因となることがあります。
- カッター部には手を触れないこと**
けがの原因となることがあります。(別売のカッターモジュールを装着時)

お願い

本機を正しくお使いいただくために、次のことを守ってください。守らないと、故障・誤動作・破損の原因となります。

- 急激な温度変化を与えないでください。
結露が生じ、故障・誤動作の原因となります。
- ほこりの多いところ、振動が強いところに置かないでください。
故障・誤動作の原因となります。
- 直射日光の当たるところ、熱器具や調理台のそば、水や油煙のかかるところには置かないでください。
故障・誤動作・破損・変形の原因となります。
- 磁石やスピーカーなど、磁気を発するものの近くに置かないでください。
故障・誤動作の原因となります。
- テレビやラジオの近くでは使用しないでください。
電波妨害を引き起こす原因となります。
- 本機を落としたりぶつけたり、本機に強い衝撃を与えないでください。
故障・誤動作・破損・変形の原因となります。
- お手入れをするときは、シンナーやベンジンなどの薬品類を使用しないでください。
変質・変形・変色・故障の原因となります。
- 印字した用紙の表面を先の尖ったものでこすったり、火を近づけたり、水をかけたり、薬品・溶剤等で拭かないでください。
印字内容の判読不能の原因となります。印字面の堅牢性を確認の上、適切な方法で取り扱ってください。
- 当社指定の用紙を使用してください。
当社指定品以外の用紙を使用すると、印字品質への悪影響や故障の原因となります。
- 用紙などの消耗品は、室温で適度な湿度のところに保管してください。
直射日光の当たるところ、高温で多湿なところに保管すると、変質・変色の原因となります。また、変質・変色した用紙を使用すると、印字品質への悪影響や故障の原因となります。
- オプション類は当社純正品(指定品)を使用してください。
当社純正品(指定品)以外を使用すると、故障・誤動作の原因となります。

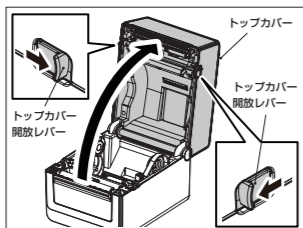
重要なお知らせ

- 本機をお使いになるときは、必ず本書に従ってください。本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
 - 製品本来の使用目的以外に使用して生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
 - 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
 - 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
 - 本書の内容については万全を期しております。万一、ご不審な点や誤り、お気づきの点がございましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。
 - 本機(ソフトウェア含む)は日本国内仕様であり、外国の規格などには適合しておりません。本機を日本国外で使用された場合、当社は責任を負いかねます。また、当社は本機に関する日本国外での保守サービス、および技術サポートなどは行っておりません。
 - MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
 - 本書に記載している会社名、商品名は、各社の登録商標または商標になっている場合があります。
 - Bluetoothは、Bluetooth SIG Inc.の商標で、当社はライセンスに基づき使用しています。
 - Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。
 - iPadおよびiPhoneは、米国と他国で登録されたApple Inc.の商標です。iPad AirおよびiPad miniは、Apple Inc.の商標です。
 - iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
 - iOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- iPhone確認機種
- ・ iPhone X
 - ・ iPhone 8
- iPad確認機種
- ・ iPad mini 4
- 動作確認OS
- ・ iOS 11, iOS 10, iOS9

9

取付手順

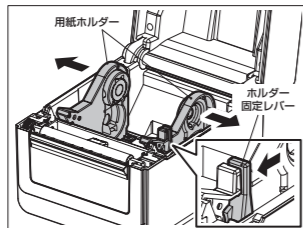
- 1 トップカバー開放レバーを矢印の方向に引きながらトップカバーを全開にします。



補足

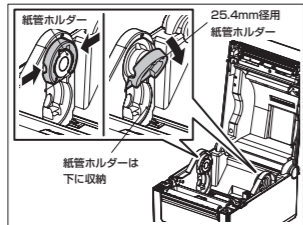
- ・ 改良のため予告なく部品形状の一部を変更することがあります。

- 2 ホルダー固定レバーをつまみながら用紙ホルダーを左右に広げます。



補足

- ・ 工場出荷時の紙管ホルダーは、紙管内径38mmと42mmのロール紙に対応しています。
 - ・ 紙管内径が25.4mmのロール紙を使用する場合は、図のように紙管ホルダーを手前に取り出し、下のくぼみに収納します。
- ① 紙管ホルダーの両端にある切り欠きに指をかけて、手前に引っ張ります。



13

公的規格等について

無線機器(テレビ・ラジオ)の近くでは使用しないでください

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

本機はRoHS指令(2011/65/EU及び2015/863)の特定有害物質使用制限に対応しています。

無線機器に対する使用上のご注意

本機は、オプションとして無線機能を用意しています。以下の注意事項は、本機の無線機能に対してのみ適用されます。

使用可能地域

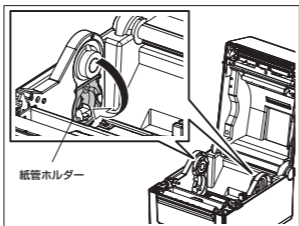
本製品は無線装置であり、使用できる国・地域は日本国内に限定されます。日本以外の国・地域で使用するとその国・地域の法律により罰せられることがあります。

使用時の注意事項

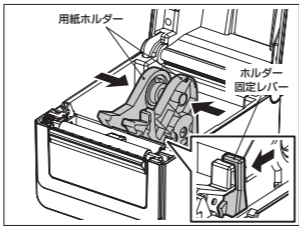
- 本製品は、電波法で定められた無線局の無線設備として、技術基準適合認証を受けています。したがって、日本国内のみの使用目的において、無線局の免許は必要ありません。ただし、本製品を分解・改造すること、証明表示をはがしたりすると、法律により罰せられることがあります。
- **航空機内や病院などの使用を禁止された場所では使用しない**
禁止場所が不明な場合、航空会社や医療機関に確認の上、指示に従ってください。誤って使用すると、運行装置や医療機器などに影響を与え、事故の原因となります。
 - **植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器への影響**
本製品は携帯電話などと比べて非常に小さい電力を使用しており、心臓ペースメーカーや除細動器への干渉の可能性は非常に低いと考えられます。万一、本製品の使用に際して、心臓ペースメーカーおよび除細動器への影響が生じた可能性がある場合、直ちに使用を中止し、医師にご連絡ください。
 - **分解・改造・修理をしない**
けがの原因となります。分解・改造は電波法違反にもなります。修理は最寄りのサービスステーションへご依頼ください。
 - **電波環境の調査を行うこと**
本機を使用する場合は必ず電波環境調査を行い、運用に支障がないことをご確認ください。電波環境調査については、お買い上げの販売店へご相談ください。

10

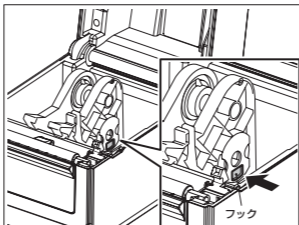
- ② そのまま下のくぼみに「カチッ」と音がするまで押し込みます。



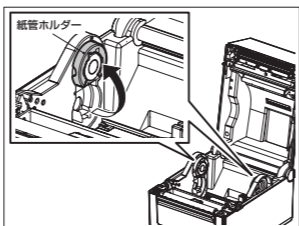
紙管ホルダーの戻し方
① ホルダー固定レバーをつまみながら、用紙ホルダーを中央付近に寄せます。



- ② 用紙ホルダーの外側から紙管ホルダーの爪部を押し紙管ホルダーのフックを外します。



- ③ 紙管ホルダーを元の位置に戻します。



14

機能について

本製品は、電波を利用して通信を行います。したがって、設置場所、設置方向、使用環境、通信距離などにより通信性能が低下したり、通信障害が発生したり、近くの機器に影響を与えたりすることがあります。

- **電子レンジのそばで使用しないこと**
電子レンジの電波の影響で、通信性能の低下や通信エラーが発生することがあります。
- **金属製の机や台の上、金属物のそばで使用しないこと**
通信性能低下の原因となります。

2.4GHz帯域使用製品について

本製品の使用周波数帯域では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

1. **本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局または特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。**
2. **万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して、電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに使用周波数を変更するか、電波の発射を停止した上、最寄りのサービスステーションへご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えば、パーテーションの設置など)についてご相談ください。**
3. **その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して、電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、最寄りのサービスステーションへお問い合わせください。**

5GHz帯域使用製品について

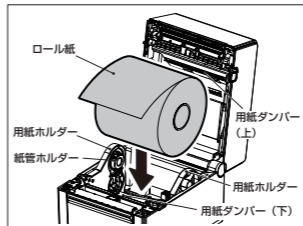
5GHz帯の電波を使用して屋外で通信しないでください。5GHz帯の無線設備を屋外で使用する場合は法律により禁止されています。屋外で本機の無線LANを使用する場合は、5GHz帯を使用せずに2.4GHz帯をご使用ください。

11

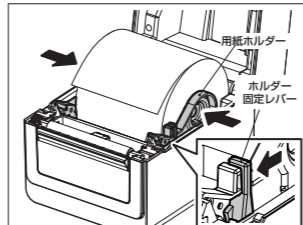
- 3 印字面が上になるようにロール紙を用紙ホルダーの間に置きます。

お願い

- ・ 用紙の巻き方向に注意してセットしてください。逆にセットすると印字されません。
- ・ 用紙の先端は、ハサミでまっすぐに切りそろえてください。ラベルの場合は、ラベルの間の台紙部を切りそろえてください。
- ・ 用紙をセットする際に、用紙ダンパー(上)と用紙ダンパー(下)を破損しないように気をつけてください。



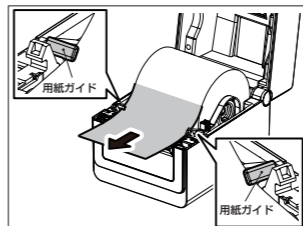
- 4 ホルダー固定レバーをつまみながら用紙ホルダーを内側にスライドさせてロール紙をしっかりと固定します。紙管ホルダーの凸部が、紙管に収まっていることを確認してください。



- 5 左右の用紙ガイドに用紙を挟み、用紙の先端が用紙発行口より少し出る位置まで用紙を引き出します。

お願い

- ・ 用紙ガイドが用紙を締め付けすぎないように注意してください。用紙を締め付けすぎると、用紙がたわみ、紙詰まりや紙送り不良の原因になります。



補足

- ・ 反射センサーを使用する用紙をセットしたときは、反射センサーの位置を調節してください。(→「反射センサーの位置を調節する」(P.26))

15

用紙の取り付け方

ここでは、本機に用紙を取り付ける手順について説明します。

本機ではラベルとタグを使用することができます。BV410D-GL02-Sモデルは、ライナレスラベルをカット発行する専用機です。用紙は当社認定の純正品をご使用ください。用紙のご用命および用紙の作成につきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

注意

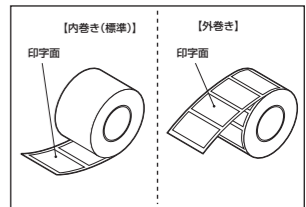
- ・ **トップカバーは全開にすること**
中途半端な状態にしておくと勝手に閉まり、けがの原因となることがあります。
- ・ **印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触れないこと**
やけどの原因となることがあります。

お願い

- ・ 初めて使用する用紙を取り付けるときは、システムモードの「センサー」で用紙検出センサーの感度調整を行ってください。(→ 取扱説明書「センサー」)
- ・ プレ印刷されている用紙を取り付けるときは、スレッシュホールドの設定を行ってください。(→ 取扱説明書「スレッシュホールドの設定(プリ印刷用紙)」)
- ・ 本機にセットできる用紙のサイズは次のとおりです。
ロール直径: 最大127mm
紙管の内径: 25.4mm、38mmまたは42mm
外径が127mmを超えるか、紙管の内径が76.2mmの場合は、別売りの外置き用紙ホルダーに用紙をセットしてください。(→ 「外置き用紙ホルダー使用時の用紙の取付手順」(P.23))
- ・ ライナレスラベルを使用する場合、ラベルの貼り付きや変形によるトラブルを防ぐため、本機を使用しない期間に応じて以下の対応を行ってください。
【毎日の対応】
一日の作業が終了したら、トップカバーを開けた状態にしてください。完全に開けず、少し開けた状態でもこりの侵入を防いでください。
【10日以上使用しないとき】
本機からラベルを取り出して保管してください。
【取り出した使用途中のラベルの保管】
取り出したラベルはビニル袋に入れてください。ビニル袋の余った部分は紙管の内側に納めてください。
・ 変形を防止するために、ラベルの側面を下にして保管してください。

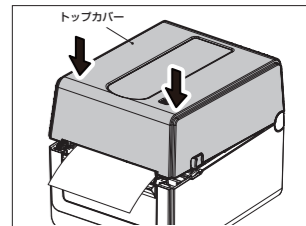
補足

- ・ 用紙には内巻きと外巻きがあり、その違いは右図のとおりです。巻く方向に関係なく、印字面が上を向くように本機に取り付けます。
- ・ 当社認定品以外の用紙を取り付けて印字した場合、その結果に対して当社は一切の責任を負いません。



12

- 6 トップカバーを静かに下ろし、トップカバー前部を「カチッ」と音がするまで両手で押し込んで確実に閉めます。



- 7 [FEED]キーを押して10～20cm程紙送りし、正しく紙送りすることを確認します。

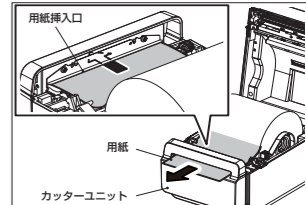
お願い

- ・ 本機を長期間使用しない場合は、トップカバーを開けてください。トップカバーを長期閉じたままにしておくと、ローラー部に挟まれた箇所の用紙が変形して、次回発行時に印字不良の原因となることがあります。

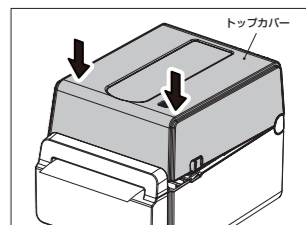
カッター装着時の用紙取付手順

- 注意**
- ・ **カッターの刃に直接触れないでください。**
けがの原因となることがあります。

- 1 通常の用紙取付手順1～5に従って用紙をセットします。
- 2 用紙の先端をカッターユニットの用紙挿入口へ差込ます。



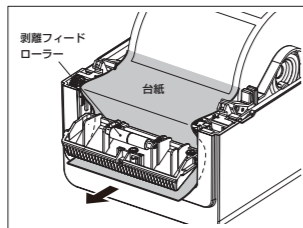
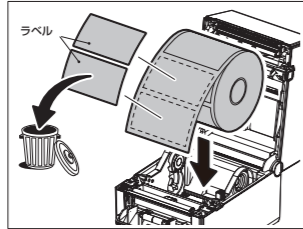
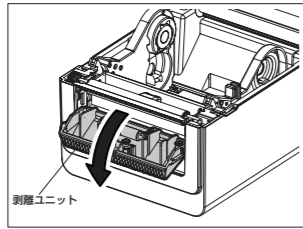
- 3 トップカバーを確実に閉め、最後に[FEED]キーを押し、正しくカットされることを確認します。



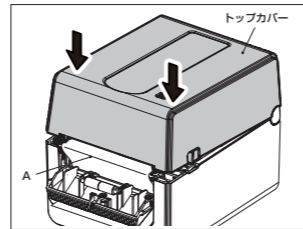
16

剥離モジュール装着時の用紙取付手順

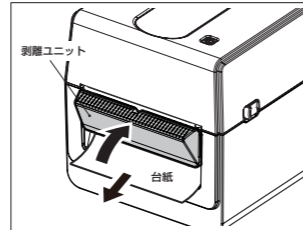
- 1 剥離ユニットを開きます。
- 2 用紙の先端から約200mm分の台紙からラベルをはがします。
- 3 通常の用紙取付手順1～5に従ってラベルロールをセットします。
- 4 台紙を台紙フィードローラーと剥離板の間に通します。



- 5 台紙を通したらトップカバーを閉めます。



- 6 上図A部にたるみがないことを確認し、台紙を軽く引っ張りながら剥離ユニットを閉めます。台紙にゆるみがあると動作中に剥離ユニットが開いてしまう場合があります。
7. [FEED]キーを押し、ラベルが正しく剥離されることを確認します。

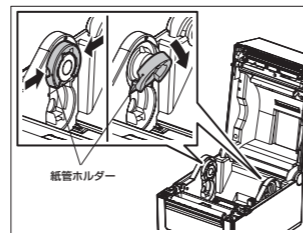


内巻きラベルの取付手順

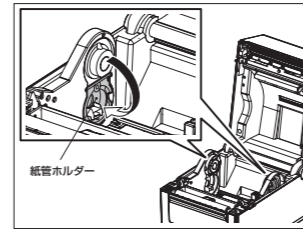
ご注意

内巻きラベルを使用する場合は、同梱されている内巻きラベル用アタッチメントを取り付けてください。アタッチメントを取り付けずに印字すると、プリンタ内部でラベルが剥がれやすくなり、紙詰まりの原因になります。

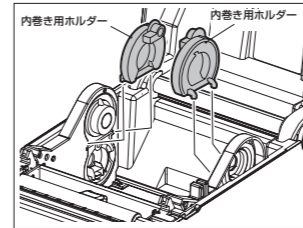
- 1 紙管ホルダーの両端にある切り欠きに指をかけて、手前に引っ張ります。



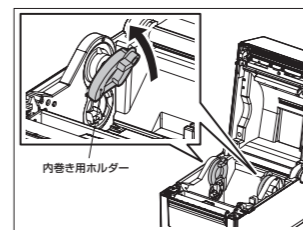
- 2 そのまま下のくぼみに「カチッ」と音がするまで押し込みます。



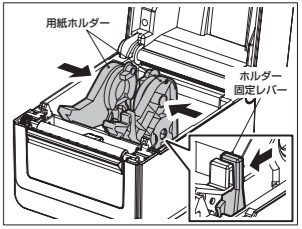
- 3 内巻き用ホルダーの突起部を、紙管ホルダーセット位置の穴に差し込みます。



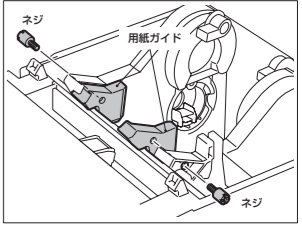
- 4 内巻き用ホルダーをパチンとはめます。



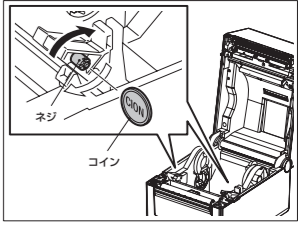
- 5 ホルダー固定レバーをつまみながら、用紙ホルダーを少し内側に寄せます。



- 6 内巻きラベル用の用紙ガイドを、用紙ホルダーの内側先端部分に図の示す向きで取り付けます。

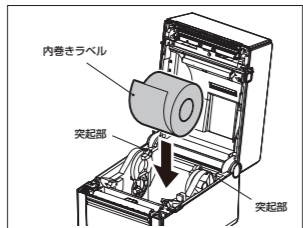


- 7 用紙ホルダーの外側からネジで用紙ガイドを固定します。

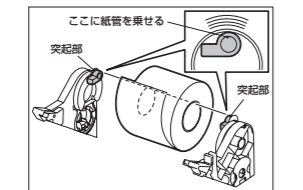


- 8 ネジは指で締め、最後はコインを使って締めてください。

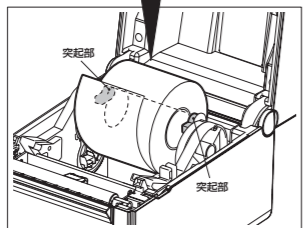
- 9 内巻きラベルをセットします。



- 10 紙管を、内巻き用ホルダー上部の丸い突起部に乗せます。



- 11 通常の用紙取付手順4～7に従ってラベルをセットします。

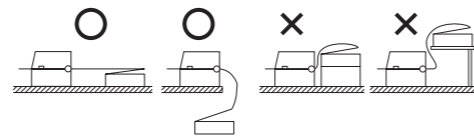
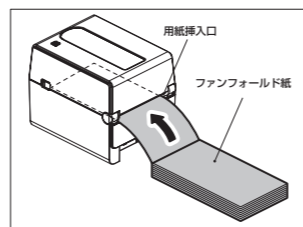


ファンフォールド紙の取付手順

- 1 本機背面にファンフォールド紙を置き、用紙の先端を用紙挿入口に差し込みます。

ご注意

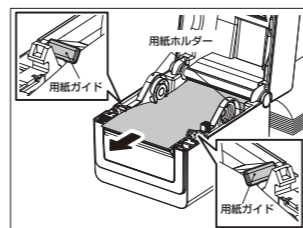
- ・ファンフォールド紙は印字面を上にして置いてください。
- ・ファンフォールド紙は本機の用紙挿入口より低い位置に置いてください。



- ・ファンフォールド紙は用紙挿入口と平行に置いてください。斜めに置くと紙送り不良・紙詰まりの原因になります。
- ・通信ケーブルや電源コードなどが、ファンフォールド紙に干渉しないようにしてください。
- ・用紙送りエラーが発生する場合は、用紙をプリンタから離してください。

- 2 トップカバーを開きます。

- 3 通常の用紙取付手順1～2に従って用紙ホルダーを左右に広げ、ファンフォールド紙を用紙ホルダーと用紙ガイドそれぞれの間を通して用紙挿出口まで引き出します。



ご注意

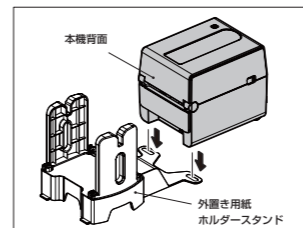
- ・用紙ガイドが用紙を締め付けすぎないように注意してください。用紙を締め付けすぎると、用紙がたわみ、紙詰まりや紙送り不良の原因になります。

- 4 トップカバーを確実に閉め、[FEED]キーを押して、正しく紙送りすることを確認します。

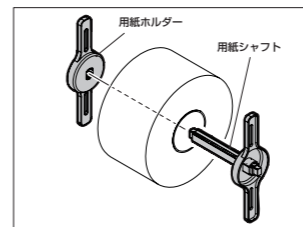
外置き用紙ホルダー使用時の用紙の取付手順

外径が127mmを超えるか、紙管の内径が76.2mmの場合は、別売りの外置き用紙ホルダーに用紙をセットしてください。

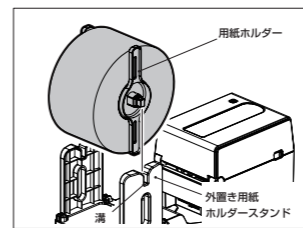
- 1 本機背面側の足に外置き用紙ホルダースタンドを取り付けます。



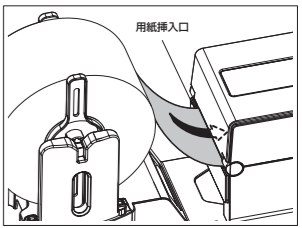
- 2 用紙シャフトをロール紙の紙管に挿入します。



- 3 用紙ホルダーを外置き用紙ホルダースタンドの溝に挿入します。

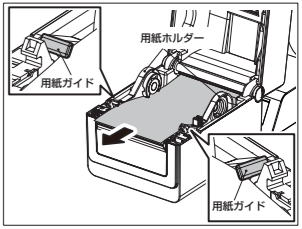


- 4 用紙の先端を用紙挿入口に差し込みます。



- 5 トップカバーを開きます。

- 6 通常の用紙取付手順1～2に従って用紙ホルダーを左右に広げ、用紙ホルダーと用紙ガイドそれぞれの間に用紙を通して用紙挿出口まで引き出します。



ご注意

- ・用紙ガイドが用紙を締め付けすぎないように注意してください。用紙を締め付けすぎると、用紙がたわみ、紙詰まりや紙送り不良の原因になります。

- 7 トップカバーを確実に閉め、[FEED]キーを押して、正しく紙送りすることを確認します。

用紙検出センサーの位置調整について

本機には用紙を正しく紙送りするため、用紙の裏面に印刷された黒マークを検出する反射センサー（可動）と、ラベルとラベルのすき間（ギャップ）を検出する透過センサー（固定）が装備されています。

反射センサーの位置は、黒マークの位置に合わせて調整してください。正しい位置に調整しないと、本機は用紙を発行できず、「紙送りエラー ****」メッセージを表示してエラーとなります。

また、用紙の種類や紙質を変えた場合は、用紙センサーの感度を調整してください。（→ 取扱説明書「センサー」）

補足

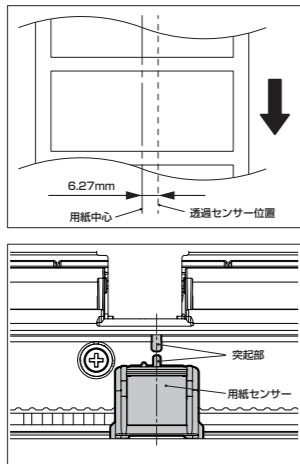
- ・ BV410D-GL02-Sモデルには、透過センサーを装備していません。

注意

- ・ 印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触れないことやけとの原因となることがあります。

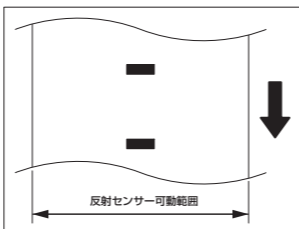
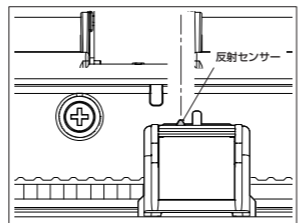
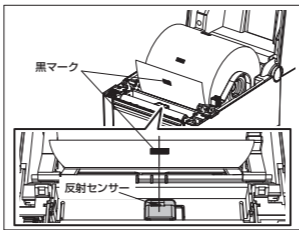
透過センサーの位置

トップカバーに付いている透過センサーは用紙の中心から6.27mm右の位置に固定されています。用紙センサーの突起部と用紙搬送部の突起部の位置が揃っていることを確認してください。また、用紙の種類を変更するたびに、用紙センサーの自動測定を実行してください。（→ 取扱説明書「パラメータ設定操作」）



反射センサーの位置を調整する

- 1 トップカバーを開きます。
- 2 用紙を約15cmほど引き出し、用紙表面の黒マークが上を向くように用紙を折り返します。
- 3 黒マークの中心線上に、反射センサーの中心を合わせてください。

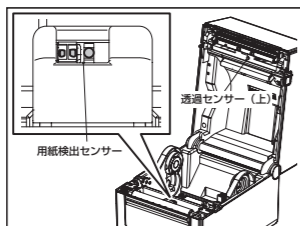


補足

- ・ 反射センサーは、用紙の端から端まで移動可能です。

用紙検出センサーを清掃する

- 1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 トップカバーを開き、用紙を取り出します。
- 3 少量のアルコールを含ませた柔らかい布または綿棒で用紙検出センサーを拭きます。紙粉やホコリは乾いた柔らかい布で拭き取ります。
- 4 透過センサー（上）のホコリや紙粉は、市販の清掃ハケで取り除きます。



お願い

- ・ センサーを鋭利なもので傷つけないでください。印字不良や故障の原因となります。
- ・ シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

プラテンを清掃する

- 1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 トップカバーを全開にします。
- 3 プラテンの汚れは、少量の無水エタノールを含ませた柔らかい布で拭き取ってください。

ライナレスラベルモデルの場合、以下に注意してください。

- ・ 用紙1巻発行ごとに清掃してください。
- ・ プラテンを強くふき取るとプラテン表面の凸凹の破損原因になります。

お願い

- ・ プラテンを鋭利なもので傷つけないでください。
- ・ シンナーやベンジンなどの無水エタノール以外の薬品類を使用しないでください。印字不良や変色・変質の原因となります。

日常のお手入れ

いつもきれいな印字が得られるように、定期的(用紙交換ごと)に本機の清掃を行ってください。特に印字ヘッドやプラテンには汚れがつきやすいので、次の手順で清掃してください。

警告

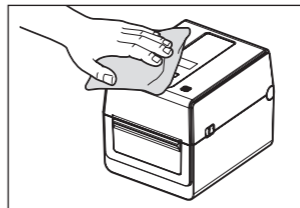
- ・ 水を直接かけたり、多量に水分を含んだ布で清掃しないこと。内部に水が入ると、火災・感電の恐れがあります。

注意

- ・ 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜くこと。電源がON状態で清掃すると、火災・感電の原因となることがあります。
- ・ シンナーやベンジン、可燃性ガスを使用したクリーナーなどで本機を清掃しないこと。火災の原因となることがあります。
- ・ トップカバーは後方へ倒すよう全開にすること。中途半端な状態で開けておくと勝手に閉まり、けがの原因となることがあります。
- ・ 印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触れないこと。火傷の原因となることがあります。

カバーを清掃する

- 1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 カバーの汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。特に汚れが目立つ部分は、少量の水を含ませた柔らかい布で拭き取ります。



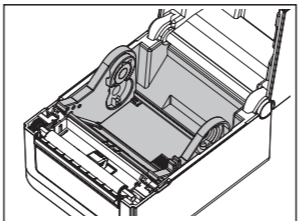
ライナレスラベル使用時は、数回発行するたびにラベル排出口の糊や汚れを拭き取りま

お願い

- ・ シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。カバーの変色の原因となります。また、プラスチック部品の破損の原因となります。

用紙収納部を清掃する

- 1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
 - 2 トップカバーを開き、用紙を取り出します。
 - 3 用紙収納部の紙粉やホコリは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。汚れが落ちない場合は、少量の中性洗剤を湿らせた柔らかい布で汚れを拭き取ります。
- ライナレスラベル使用後は、用紙ホルダーや用紙ガイドの糊や汚れを少量の水を含ませた柔らかい布で拭き取ります。清掃は、用紙1巻ごとに実施してください。



お願い

- ・ シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。用紙収納部の変色・変質の原因となります。

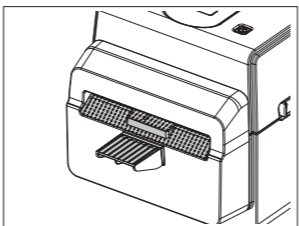
ライナレスラベルカッターを清掃する

注意

- ・ カッターの刃に直接触れないでください。けがの原因となることがあります。

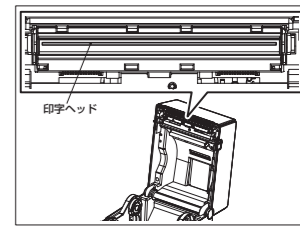
以下の手順は、用紙1巻ごとに実施してください。

- 1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 トップカバーを開き、用紙を取り出します。
- 3 ラベル排出口とラベル受けに付いた糊や汚れを少量の水を含ませた柔らかい布で拭き取ります。



印字ヘッドを清掃する

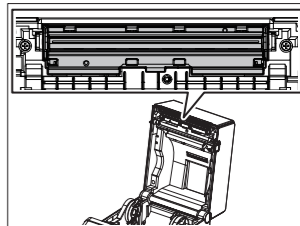
- 1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 トップカバーを開きます。
- 3 標準機の場合、印字ヘッドの発熱部（網掛け部分）の汚れは、市販の綿棒が別売りのヘッドクリーナーペン、または少量のアルコールを含ませた柔らかい布で拭き取ります。



補足

- ・ 別売りのヘッドクリーナーペンはお買い上げの販売店へご注文ください。

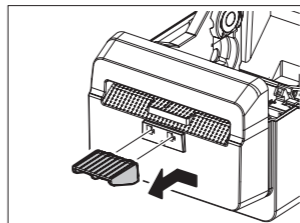
- 4 ライナレスラベルモデルの場合、印字ヘッドの網掛け部分の汚れは、付属のヘッドクリーナーペン、または少量のアルコールを含ませた柔らかい布で拭き取ります。清掃は、用紙1巻ごとに実施してください。



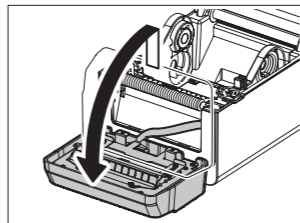
お願い

- ・ 印字ヘッドを鋭利なもので傷つけないでください。印字不良や故障の原因となります。
- ・ 印字ヘッドの発熱部に直接手を触れないでください。静電気で、印字ヘッドが破損することがあります。
- ・ シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。印字不良や故障の原因となります。

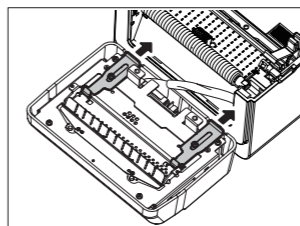
- 4 ラベル受けを横にスライドさせ、手前に引き抜きます。



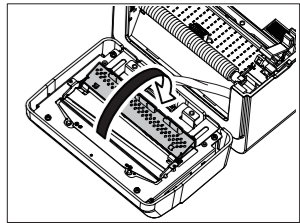
- 5 カッターユニットを持ち上げて取り外します。



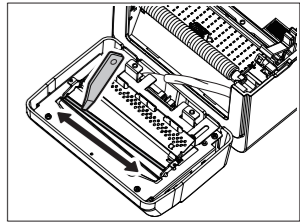
- 6 カッターユニット内側の金具を矢印の方向にスライドさせます。



- 7 カッターガイドを開きます。

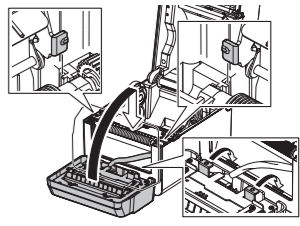


- 8 付属のスクレイパーでカッターの刃の周りについた糊をごそけ取ります。



- 9 カッターの刃を無水エタノールで湿らせた柔らかい布または綿棒で拭きます。

- 10 カッターユニットを4～7の逆の手順で取り付けます。

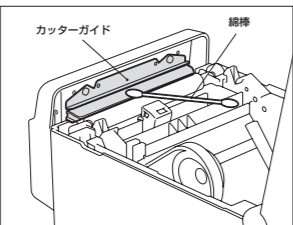


仕様

カッター (オプション) を清掃する

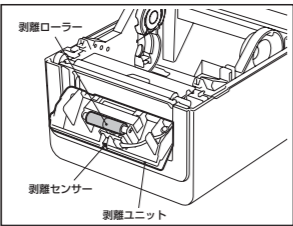
- 注意** カッターの刃に直接触れないでください。けがの原因となる場合があります。

- 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- トップカバーを開き、用紙を取り出します。
- カッターガイドを、無水エタノールで湿らせた柔らかい布または綿棒で拭きます。



剥離モジュール(オプション) を清掃する

- 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- トップカバーを開き、剥離ユニットを開けます。
- 剥離センサーや用紙排出口周辺のホコリや汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。
- 剥離ローラーの汚れは、無水エタノールで湿らせた柔らかい布で拭き取ります。



- お買い**
- 剥離ローラーや剥離センサーを鋭利なもので傷つけないでください。発行不良や故障の原因となります。
 - シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。
 - 清掃は用紙1巻毎に実施してください。(発行中にカバーが開いてしまう場合があります。)

本機の仕様

■ BV410D-TS02/GS02/TC02/GC02-S

項目	仕様			
型式	BV410D-GC02-S	BV410D-TC02-S	BV410D-GS02-S	BV410D-TS02-S
定格電源	交流100V±10% 50/60Hz (ACアダプタ使用)			
消費電力	印字中:60W (印字率15%斜線時)、待機中:4.4W (オプション無し時)			
使用温度範囲	5～40℃			
使用湿度範囲	25～85% (ただし、結露しないこと)			
印字方式	感熱方式(直接発色)			
印字ヘッド密度	8ドット/mm (203dpi)	11.8ドット/mm (300dpi)	8ドット/mm (203dpi)	11.8ドット/mm (300dpi)
印字速度 *1	<連続・カット発行時> 50.8mm(2インチ)/秒 76.2mm(3インチ)/秒 101.6mm(4インチ)/秒 127mm(5インチ)/秒 152.4mm(6インチ)/秒 177.8mm(7インチ)/秒	<連続・カット発行時> 50.8mm(2インチ)/秒 76.2mm(3インチ)/秒 101.6mm(4インチ)/秒 127mm(5インチ)/秒	<連続・カット発行時> 50.8mm(2インチ)/秒 76.2mm(3インチ)/秒 101.6mm(4インチ)/秒 127mm(5インチ)/秒 152.4mm(6インチ)/秒 177.8mm(7インチ)/秒	<連続・カット発行時> 50.8mm(2インチ)/秒 76.2mm(3インチ)/秒 101.6mm(4インチ)/秒 127mm(5インチ)/秒 <剥離発行時>*2 50.8mm(2インチ)/秒 76.2mm(3インチ)/秒 101.6mm(4インチ)/秒
発行モード	連続発行/カット発行		連続発行/剥離発行(オプション)/ カット発行(オプション)	
表示方式	128 x 64 ドットグラフィックLCD 最大21桁 x 5行			
表示文字	英字、漢字、数字、カタカナ、記号			
有効印字幅	最大108mm	最大105.7mm	最大108mm	最大105.7mm
印字可能文字種	英/数/カナ	タイムスローマンヘルベチカ、プレゼンテーション、レターゴシック、プレステージエリート、 Courier, OCR-A, OCR-B, ゴシック725ブラック		
	漢字	16x16, 24x24, 32x32, 48x48 (角ゴシック) 24x24, 32x32 (明朝)		
	外字	16x16, 24x24, 32x32, 48x48ドット各1種、フリーサイズ…40種		
	その他	アウトラインフォント(英数字)…5種、価格フォント…3種、 NotoSansFont		
印字可能バーコード	JAN8/13, EAN8/13, EAN8/13 add on 2&5, UPC-A/E, UPC-A/E add on 2&5, Interleaved 2 of 5, NW-7, CODE39/93/128, EAN128, MSI, インダストリアル 2of5, RM4SCC, KIX code, GS1 Databar, カスタマーバーコード, POSTNET, MATRIX 2 of 5 for NEC			
印字可能二次元コード	QRコード, Micro QRコード, セキュリティ QRコード, PDF417, MaxiCode, DataMatrix, MicroPDF417, GS1 Data Matrix, Aztecコード			

項目	仕様	
インターフェース	USBポート×1 (2.0準拠/ハイスピード対応) LANポート×1 (10BASE-T/100BASE-TX準拠) USBホスト×1 (USB V2.0準拠/ハイスピード対応) Bluetooth (オプション)×1 (V2.1+EDR) 無線LAN(オプション)×1 (IEEE802.11a/b/g/n準拠) RS-232Cインターフェース(オプション)×1	
外形寸法(W)x(D)x(H)	169mm x 241mm x 173mm	169mm x 213mm x 173mm
質量	約2.5kg	約2.0kg
オプション(別売)	パーソナルカッターモジュール (BV214-P-QM-S) ラベルカッターモジュール (BV214-LC-QM-S) 外置き用紙ホルダー (BV904-PH-QM-S) シリアルインターフェースボード (BV700-RS-QM-S) 無線LANボード (BV700-WLAN-QM-S) Bluetoothインターフェースボード (BV700-BLTH-QM-S) ACアダプタカバー (BV914-ACD-QM-S)	フルカッターモジュール (BV214-F-QM-S) パーソナルカッターモジュール (BV214-P-QM-S) ラベルカッターモジュール (BV214-LC-QM-S) 剥離モジュール (BV914-H-QM-S) 外置き用紙ホルダー (BV904-PH-QM-S) シリアルインターフェースボード (BV700-RS-QM-S) 無線LANボード (BV700-WLAN-QM-S) Bluetoothインターフェースボード (BV700-BLTH-QM-S) ACアダプタカバー (BV914-ACD-QM-S)

- *1: ご使用のサプライの組み合わせにより印刷できる速度に制限がある場合があります。
*2: 剥離発行時の印字速度は101.6mm(4インチ)/秒までとなります。

補足

- 本機の仕様は改良のため、将来予告無しに変更することがあります。

用紙の仕様

用紙には熱直接発色タイプのラベル、タグおよびレシートがあります。
用紙は当社認定の純正品をご使用ください。
用紙のご用命および用紙の作成につきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
(単位:mm)

項目	発行モード	仕様		
		連続発行	剥離発行	カット発行
用紙ピッチ	外巻き用紙	10.0～999.0	25.4～152.4	25.4～999.0
	内巻き用紙	10.0～999.0	25.4～86.2	25.4～82.2
用紙長	外巻き用紙	8.0～997.0	23.4～150.4	19.4～993.0
	内巻き用紙	8.0～997.0	23.4～76.2	19.4～76.2
タグ幅・レシート幅		25.4～118.0		
ラベル台紙幅		25.4～118.0 (102)*		
ラベル幅		22.4～115.0 (99)*		
ギャップ/黒マーク長		2.0～10.0		6.0～10.0
黒マーク幅		8.0以上		
最大有効印字幅		105.7±0.2		
用紙厚さ		0.06～0.19		
最大ロール径		φ127.0, 107.0*, 214.0*		
紙管の内径		φ25.4, 38.1, 42.0*, 76.2*		
巻き方向		外巻き(標準)/内巻き		

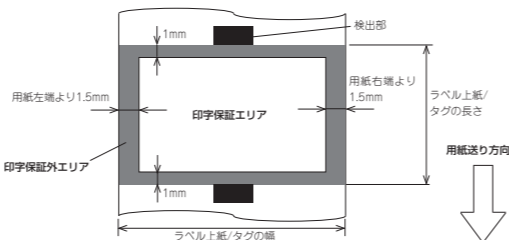
- *1: 外置き用紙ホルダー使用時
*2: 内巻きラベル用アタッチメント装着時
*3: 内巻きラベル使用時は、内巻きラベル用アタッチメントを装着してください。
また、紙管内径がφ42mmのラベルのみ使用可能です。

補足

- 用紙終端部の紙管への留め方
用紙の終端部を糊またはテープで紙管に留めている場合、用紙が紙管から剥がれる瞬間に用紙搬送が影響を受けることがあります。特にこの時に印字したバーコードや二次元コードが読取り不可となる可能性があります。そのため、ご使用前に必ずお客様のご確認をお願いします。

補足

- 下図グレーのエリアでの印字は品質保証外となります。



- 用紙先端付近は、印字条件により印字品質に影響が出る場合がありますので、印字フォーマット作成時にご確認ください。バーコード等の印字位置は用紙先端より3mm以上離すことを推奨します。